


作成日		発行
2017. 1. 5 No.258		(株)秋山製作所 企画・デザイン室

## 丁酉（ひのととり）

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

年初恒例ですが、今年の干支についてお話しさせていただきます。今年の干支は「酉（とり）」です。とりは人に時を報せる動物であり、また「とりこむ」と言われ、商売などでは縁起の良いものと言われています。毎年11月の酉の日に行われる「酉の市」では、名物の縁起熊手で、新年の開運招福、商売繁盛を願います。本来の干支（十二支と十干を組み合わせたもの）では、今年は「丁酉（ひのととり）」となります。丁酉の”丁（ひのと）”は釘から来ており、「安定する」という意味があります。”酉（とり）”は、酒に関する時に用いられ、収穫した作物から酒を作るという意味から、「実る」という意味もあります。

今年は、丁酉（ひのととり）の意味のように、商売が繁盛するなど、安定した実りのある年にしていきたいですね。

毎年当社では、年末年始商戦に向けて干支ピンブローチを開発販売しています。今年の干支「酉」シリーズには、とても“かわいい”と“かっこいい”仲間が加わりました。年始商戦に是非お役立てください。

(M. U)

### － 開運干支「酉」スタットピン －

新しい仲間



B4602



B4560



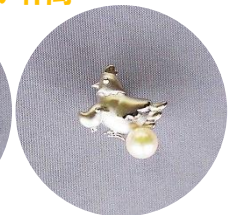
B4561



B4563



B6233



B6234

## 七草粥

毎年、お正月になると出てくる料理の一つである「七草粥」の由来をお話しします。

年明けの1月7日は別名「七日正月」、「七日絶句」とも呼ばれ、その朝になると「七草粥」を作って食べる風習があります。これは、元々は中国の風習だったそうです。「七日正月」と言って、中国では正月の7日後が1つの節目になっているので、「七種類の野菜を汁物で食べて邪気を祓える」と考え、七草粥を食べていたそうです。昔の日本では、七草とは米、麦、稗、粟などの穀物の事で、これらを使ったお粥を食べてその年の五穀豊穡を祈っていたのですが、時間が経つにつれ、穀物が七種の野草や野菜に変化していったそうです。現在の日本では、1月7日に七草粥を食べる風習には、「その年の万病を避けられ元気に過ごせる」といった意味が込められているそうです。

お正月に美味しいものをいっぱい食べて、食べ過ぎを感じている1月7日は、今年の無病息災を願い、七草粥を食べましょう！ (M. S)

## ミールキット

「2017年ヒット予測」にランクインしていた、「ミールキット」について、皆さんはご存じでしょうか？

「ミールキット」とは、アメリカから発祥した献立に合わせた調理前の食材を集めてまとめた、おかず材料のセットのことだそうです。特にネットで注文し配達してくれることが、買い物の手間を大幅に短縮してくれるサービスとして注目されているそうです。最近では、ツイッターやインスタグラムなどで、自分の料理を綺麗に写真にとって投稿する人が増えています。難しい料理に挑戦する場合でも、このキットがあればレシピもついてくるので、見栄えのする料理ができると思います。

自宅でレストランのような料理が作れることは、素晴らしいことだと思いますし、ちょっとしたホームパーティやお祝い事にも最適なサービスだと思います。

私も利用する機会があれば、挑戦してみたいです♪ (M. S)

